

平成19年2月22日  
西中国信用金庫

## お客様情報が記録されたCD-ROMの紛失について

西中国信用金庫（理事長 山本 徹）では、本部で保有するお客様情報が記録されたCD-ROM1枚を紛失していることが判明いたしました。

このような事態を招きましたことは誠に申し訳なく、お客様をはじめ関係各位の方々に、多大なご迷惑、ご心配をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

現時点で、紛失物は発見されておりませんが、徹底的な調査を行った結果、当金庫本部内で誤って廃棄した可能性が極めて高いものと判断しております。

役職員一同、今回の事態を厳粛に受け止め、情報管理体制の再構築および職員の啓発教育を徹底し、お客様情報の管理に全力を挙げて取組む所存でございます。何卒ご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

### 1. 対象顧客数

約19万名様（当金庫のお客様 約15万名様、その他のお客様 約4万名様）

### 2. 紛失したCD-ROMに記録されたお客様情報

- ① 平成18年11月時点で、旧下関信用金庫の口座をお持ちのお客様  
氏名、生年月日、住所、電話番号等  
（一部のお客様については、口座番号、残高等を含みます。）

- ② 平成18年11月中に旧下関信用金庫を通じて為替取引をされたお客様<sup>(注)</sup>  
氏名、金額、取引金融機関名、口座番号等

(注) ・旧下関信金において振込みを依頼したお客様及び振込先のお客様  
・他金融機関から旧下関信金へ振込みを依頼したお客様及び振込先のお客様

紛失したCD-ROMは、平成18年11月時点の顧客情報を内部用として記録したものであり、コンピュータ上のお取引データには全く影響はなく、今後のお客様とお取引に際しても支障はありません。

### 3. 紛失の経緯

平成19年1月30日、本部において、CD-ROMを保管管理している部署が、CD-ROM1枚が不足していることに気づき、調査した結果、平成19年1月9日以降、本部内で紛失したと考えられ、以来、徹底的な捜索を続けており

ますが、現時点まで発見されておられません。

#### 4. 外部流出の可能性

内部調査の結果、外部への流出、持出の形跡はなく、本部内において他の廃棄物に混入し、廃棄した可能性が極めて高いと判断しております。また、仮にCD-ROMが外部流出したとしましても、各種のセキュリティ対策を講じているため、情報が外部へ漏えいする懸念は極めて低く、これまでに本件に関する問合せ、第三者による悪用、当庫への不正要求などの問題は一切発生しておりません。

#### 5. 再発防止とお客様対応

本件発生の原因については、本部部署間の授受確認、保管管理が不十分であったことによるものであり、直ちに再発防止策を講じ取扱いの厳正を図りました。

また、本件に係るお客様からのお問い合わせについては、専用窓口を開設し、対応することとしております。

以 上

#### お客様からのお問い合わせ窓口

西中国信用金庫 お客様相談センター
電話番号：0120-26-3521（フリーダイヤル）
0120-67-5563（フリーダイヤル）
受付時間：午前9時から午後5時45分まで
（3月3日以降の土・日・祝日は除きます）